学級通信 はばたき
大田区立御園中学校
難聴学級
第４号
令和８年７月10日

小学生向け難聴学級授業体験・学級説明会

７月 ７ 日（火）に、区内小学生向けの難聴学級授業体験と学級説明会を行いました。 北糀谷小学校と入新井第一小学校のきこえの教室に通う児童3名と保護者の方が来校しました。

１時間目はフォニックスで英語の発音練習をし、舌の位置を意識しながら英語らしい発音を学びました。はじめは、発音への苦手意識からか恥ずかしそうにしていましたが、先生の口元をよく見て、形を真似ようと頑張りました。小学校での英語の学習とはまた一味違った学びを楽しんでくれたようです。



２時間目は、自分の好きなことを作文に書いてスピーチをする学習をしました。「国語は苦手～」といった声もありましたが、ゲームやキャラクターなど自分の好きなことについて一生懸命文章を考えて話す姿からは国語の苦手さは全く感じられませんでした。緊張もしていたと思いますが、前に出て発表する姿はとても堂々としていて、聞く姿勢もかっこよくとても素晴らしかったです。

１日の流れ	
8:50～9:40	１時間目
9:40～9:50	10 分休憩
9:50～10:40	２時間目
10:40～10:50	10 分休憩
10:50～11:30	授業体験の振り返り ＆個別面談

少し緊張した面持ちだった子どもたちも、授業が進むにつれだんだんと笑顔が見られ、楽しそうに学んでいました。最後に、授業を受けた感想を聞くと、「難聴学級で勉強したら、分からない教科もできるようになるからいいなぁと思いました。」「中学校の授業では、先生たちも早口だと思うから少し心配」「絶対難聴学級がいいけれど、校内か校外にするかなかなか決められないなぁ。」といった声が聞こえてきました。

進路を自分で決めることは、中学3年生になっても難しいものです。まだ小学生の子どもたちが悩むのも当然のことですね。保護者の方や小学校の先生とたくさん相談して、自分に合ったベストの環境を選んでもらえたらうれしいです。今回の授業体験がその一助となれば、幸いです。

かわいい子どもたちが、御園中の難聴生となって来年一緒にこの校舎で勉強できることを今からとても楽しみにしています。

「難聴学級交流会・先輩の話を聞く会」開催のお知らせ

日　時　令和8年8月26日(水)10 時 00 分から 12 時 00 分まで
場　所　港区立御成門中学校
内　容　第1部　自己紹介・交流会
　　第2部　先輩の話を聞く会

※通級生は、<u>蒲田駅に９時に集合</u>し、電車で向かいます。
交通費の入った IC カード(往復 774 円分)を持参してください。

通級の予定

【8 月】26(水)中学校交流会
　　＆先輩の話を聞く会
【9 月】
3 日(木)　4 日(金)
10 日(木) 11 日(金)
16 日(水)グループ自立
24 日(木) 25 日(金)

日本からアフリカへ　難聴学級の旅✈

大学卒業後、都内の難聴学級に８年間勤めた私は、ご縁があってJICA海外協力隊として西アフリカのガーナに派遣されました。今回はデフユニットではなく、歴史の話をします。



ガーナの国軍博物館に行ったときのことです。戦争で実際に使われた銃などが沢山展示されている中に、見覚えのあるものが･･･。ボロボロになった日の丸国旗でした。よく見ると、国旗には日本人の名前。「寄せ書き日の丸」と呼ばれる、日本兵が出兵する際に、家族や友人から贈られる旗でした。「なぜガーナに寄せ書き日の丸が？」と不思議に思い説明を読むと、その国旗は、ビルマ（今のミャンマー）に派兵されたガーナ人が戦果として持ち帰ったものだということが分かりました。

第二次世界大戦、日本軍はイギリス軍とビルマの地で戦いました。このイギリス軍の中に、当時イギリスに植民地支配されていたガーナの兵士が送り込まれていたのです。歴史の授業で、「日本は第二次世界大戦でアメリカ・イギリス・ソ連・中国などの連合国軍と戦った」と教わった私は、ビルマで戦ったのはイギリス人だと思い込んでいたので、博物館でこの事実を知ったときは驚きました。

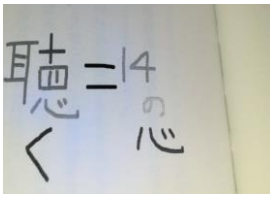


ちなみに日本軍から押収した国旗は古くなっていましたが、その隣には光沢のある糸で織られた新しい日の丸国旗が飾られていました。詳しい経緯は分かりませんでしたが、どうやら博物館の人が依頼して、ガーナで制作したようです。漢字に馴染みがない国のため、字にぎこちなさがあるものの、きっと、朽ちていく日本国旗を見て、そこに込められた大切な思いが途切れないように作り直してくれたんだと思います。優しく、温かい心をもつガーナの人達と、この先は共に平和な道を歩んでいきたい、そんな思いで博物館を後にしました。　　（芳我）

～言の葉（ことのは）～

難聴学級の教員になってから「きこえ」「難聴」「聴覚障害」などがテーマの本を読む機会が増えました。中でも、ＪＡＸＡに勤務しているろう者の春日晴樹さんの書いた『はるの空』という本は、中学生にぜひ読んでほしい１冊ですので紹介します。難聴学級に置いておくのでいつでも手に取ってみてくださいね。（田村）

「私は“十四の心”を大切にしたいと考えている。“聴”という文字をよく見てほしい。
“十四”の心が入っているのだ。」



① 尊敬する気持ちをもって聴く。　② 素直な気持ちをもって聴く。
③ 優しい気持ちをもって聴く。　④ あなたを知りたいという気持ちをもって聴く。
⑤ 焦らないで最後まで聴こうとする気持ちをもって聴く。
⑥ あなたを大切にしたいという気持ちをもって聴く。
⑦ ピュアな気持ちをもって聴く。　⑧ 笑顔で聴く。
⑨ お詫びの気持ちをもって聴く　⑩ 信じるという気持ちをもって聴く。
⑪ 「好き」という気持ちをもって聴く。⑫ 思いやりの気持ちをもって聴く。
⑬ 感謝の気持ちをもって聴く。

📗ミニクイズ📖はばたき6月号の答え「有隣堂の由来となった故事成語」の答えは、“徳孤ならず必ず隣あり”でした！徳のある人は決して孤立することはない。いつの日か、またどこかで、必ず理解し、共鳴する人が現れてくるものであるという、心に響く孔子先生の教えですね。」ぜひこの夏、有隣堂へ足を運んでみてください♪